

日本標準商品分類番号
872649

鎮痛・消炎パップ剤

パステルハップ®

PASTELL® HAP

貯 法 : しゃ光した気密容器保存
(開封後は、袋の口を折り曲げて閉じ、直射日光を避け、室温で保存すること。)
使用期限 : 内袋及び外箱に表示

承認番号	20900AMZ00140000
薬価収載	1997年7月
販売開始	1997年8月

【禁忌（次の患者には使用しないこと）】

本剤に対して過敏症の既往歴のある患者

【組成・性状】

成分・含有	膏体100g(700 cm ³)中 サリチル酸メチル 2.0 g l-メントール 0.625 g dl-カンフル 0.5 g ジフェンヒドラミン塩酸塩 0.02 g
添 加 物	エデト酸Na、ゼラチン、カオリン、カルメロースNa、グリセリン、D-ソルビトール、尿素、ヒマシ油、ポリアクリル酸、ポリアクリル酸Na、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、その他2成分
性 状	本品は白色～淡黄色の特異な芳香のある膏体を不織布に展延し、膏体表面をプラスチックフィルムで被覆した成形パップ剤である。
1枚の大きさ	20 g (14 cm × 10 cm) 40 g (20 cm × 14 cm)

【効能・効果】

下記における鎮痛・消炎

捻挫、打撲、筋肉痛、関節痛、骨折痛

【用法・用量】

- 表面のプラスチック膜をはがして、患部に貼付する。
- 1日1～2回使用する。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

以下のような副作用があらわれた場合には、症状に応じて使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

分類	頻度	頻度	不明
過敏症		発赤、発疹、腫脹等	

2. 小児等への投与

乳幼児には刺激が強すぎることがあるので、慎重に使用すること。

3. 適用上の注意

(1) 使用部位：次の部位には使用しないこと。

- 損傷皮膚及び粘膜
- 湿疹又は発疹
- 眼又は眼の周囲

(2) 使用時：1) 汗をかいたり、皮膚がぬれています場合は患部を清潔にふいてから使用すること。

- 本剤に触れた手で、眼、鼻腔、口腔等の粘膜に触れないように注意すること。

【薬効薬理】

1. 抗炎症作用¹⁾

ラットにおける背部皮膚浮腫法及びカラゲニン肉芽腫法による抗炎症実験において抗炎症作用が認められた。

2. 鎮痛作用²⁾

マウスにおける熱刺激法及び機械的圧刺激法において鎮痛作用が認められた。

3. 血管拡張・血流増加・知覚鈍麻作用³⁾

サリチル酸メチル、l-メントール、dl-カンフルは局所血管拡張、血流増加及び知覚鈍麻作用を示す。

4. 抗ヒスタミン作用³⁾

ジフェンヒドラミン塩酸塩は抗ヒスタミン作用を示す。

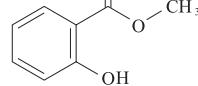
【有効成分に関する理化学的知見】

(1) サリチル酸メチル

一般名：サリチル酸メチル (Methyl Salicylate)

化学名：Methyl 2-hydroxybenzoate

構造式：



分子式：C₈H₈O₃

分子量：152.15

性状：無色～微黄色の液で、強い特異なにおいがある。

エタノール(95)又はジエチルエーテルと混和し、水に極めて溶けにくい。

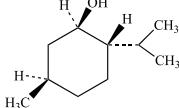
沸点：219～224°C

(2) l-メントール

一般名：l-メントール (l-Menthol)

化学名：(1RS,2S,5R)-5-Methyl-2-(1-methylethyl)cyclohexanol

構造式：



分子式：C₁₀H₂₀O

分子量：156.27

性状：無色の結晶で、特異なうすかな芳香があり、味は初め舌をやくようで、後に清涼となる。

エタノール(95)又はジエチルエーテルに極めて溶けやすく、水に極めて溶けにくい。

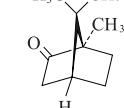
融点：42～44°C

(3) dl-カンフル

一般名：dl-カンフル (dl-Camphor)

化学名：(1RS,4S)-1,7,7-Trimethylbicyclo[2.2.1]heptan-2-ol

構造式：



及び鏡像異性体

分子式：C₁₀H₁₆O

分子量：152.23

性状：無色又は白色半透明の結晶、結晶性の粉末又は塊で、特異な芳香があり、味はわずかに苦く、清涼味がある。

エタノール(95)、ジエチルエーテル又は二硫化炭素に溶けやすく、水に溶けにくい。室温で徐々に揮散する。

融点：175～180°C

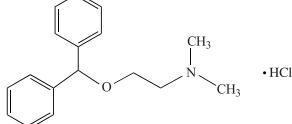
(4) ジフェンヒドラミン塩酸塩

一般名：ジフェンヒドラミン塩酸塩

(Diphenhydramine Hydrochloride)

化学名：2-(Diphenylmethoxy)-N,N-dimethylethylamine
monohydrochloride

構造式：



分子式： $C_{17}H_{21}NO \cdot HCl$

分子量：291.82

性状：白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味は苦く、舌を麻ひする。

メタノール又は酢酸(100)に極めて溶けやすく、水又はエタノール(95)に溶けやすく、無水酢酸にやや溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。光によって徐々に変化する。

融点：166~170°C

【取扱い上の注意】

- (1) 使用残りの薬剤は袋にもどし、口を折って厳重密閉のうえ直射日光や高温の場所を避けて保存すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保存するように注意すること。

【包装】

10kg:(20g×5枚)×100 1枚の大きさ 14cm×10cm

10kg:(40g×5枚)×50 1枚の大きさ 20cm×14cm

【主要文献】

- 1) 岩倉泰一郎 :基礎と臨床、11(7) 10(1977)
- 2) 岩倉泰一郎 他 :基礎と臨床、12(9) 47(1978)
- 3) 吉利和 他 :臨床薬理学大系、P14,P196,P201 中山書店(1966)

【文献請求先】

キヨーリンリメディオ株式会社 学術部
〒920-0017 金沢市諸江町下丁287番地1

TEL 0120-960189 FAX 0120-189099

※※販売元 杏林製薬株式会社
〒101-8311 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

発売元 キヨーリンリメディオ株式会社
〒932-0211 富山県南砺市井波885番地

製造販売元 株式会社大石膏盛堂
〒841-0037 佐賀県鳥栖市本町1丁目933番地